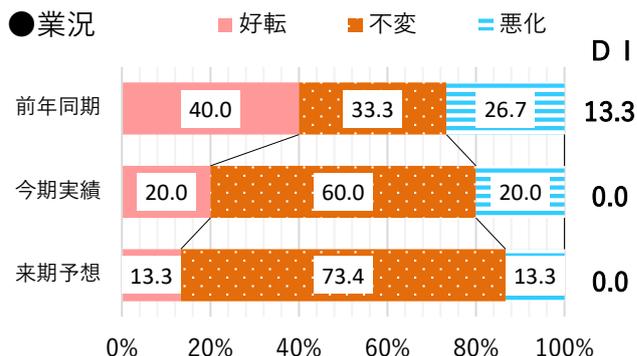


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

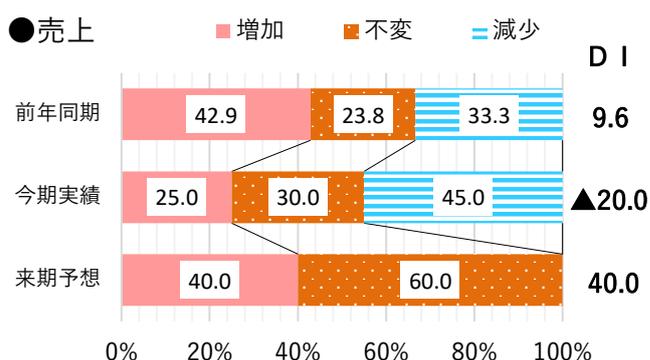
今期（2024.4～6）の業況判断DIは0.0で、前年同期（2023.4～6）と比べ13.3ポイント低下しました。

来期（2024.7～9）は、業況の横ばいを予想しています。



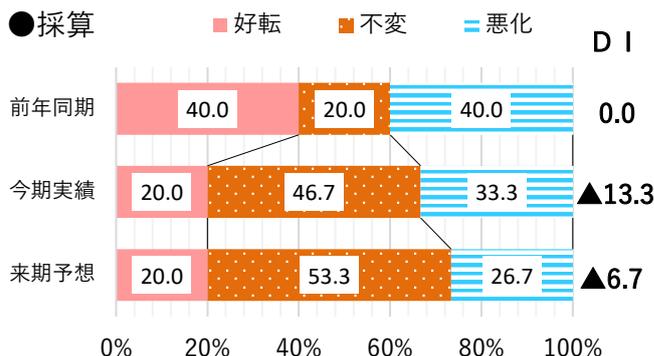
今期の売上高DIは▲20.0で、前年同期と比べ29.6ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、売上が大幅に増加しプラスに転じると予想しています。

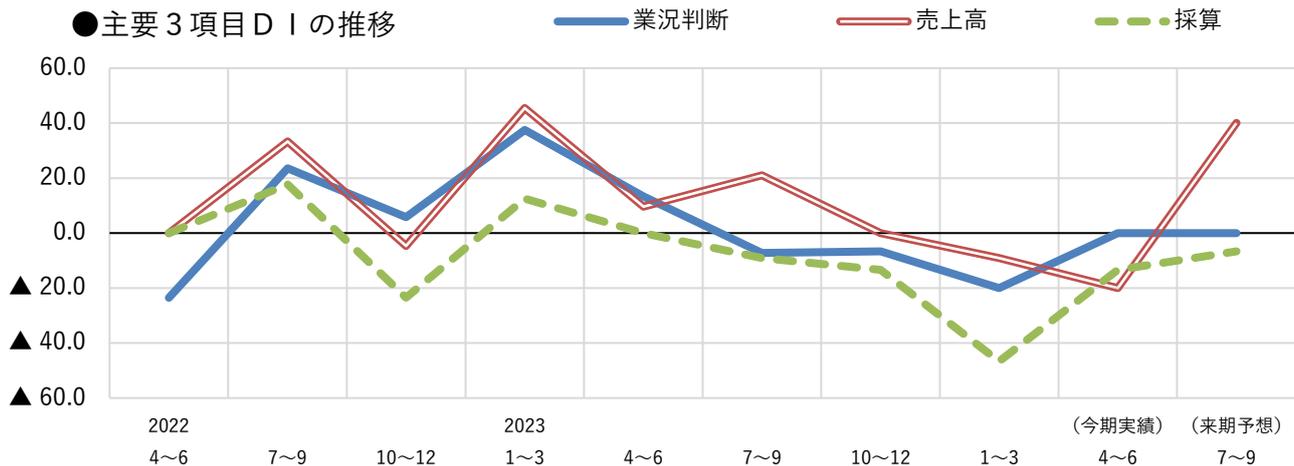


今期の採算DIは▲13.3で、前年同期と比べ13.3ポイント低下し、マイナスに転じました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



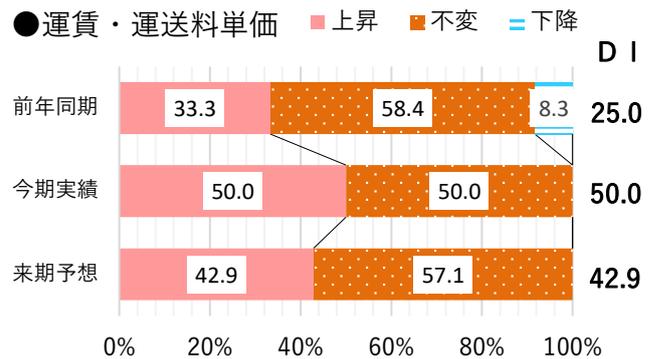
●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

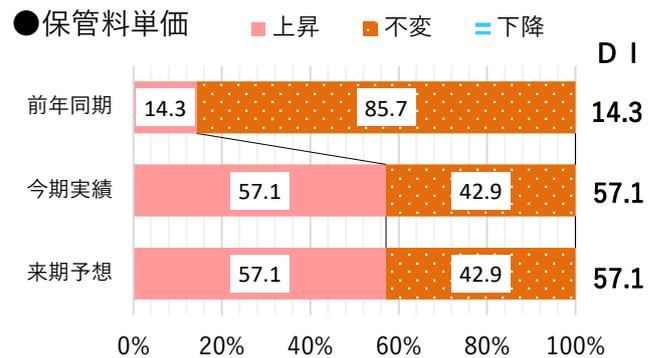
今期の運賃・運送料単価DIは50.0で、前年同期と比べ25.0ポイント上昇しました。

来期は、運賃・運送料単価の上昇傾向が続くと予想しています。



今期の保管料単価DIは57.1で、前年同期と比べ42.8ポイントと大幅に上昇しました。

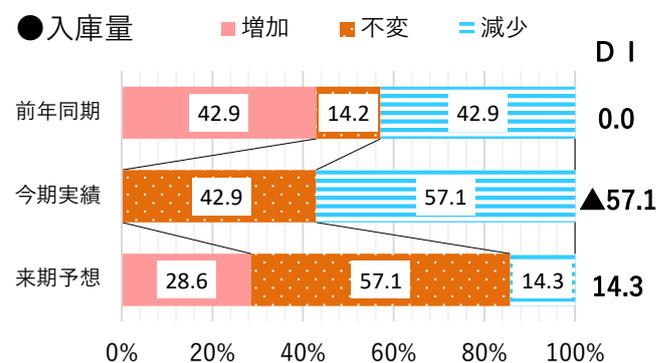
来期は、保管料単価の横ばいを予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

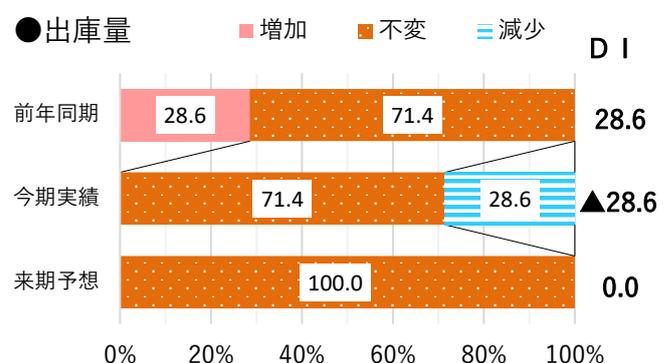
今期の入庫量DIは▲57.1で、前年同期と比べ57.1ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

来期は、入庫量が大幅に増加し、プラスに転じると予想しています。



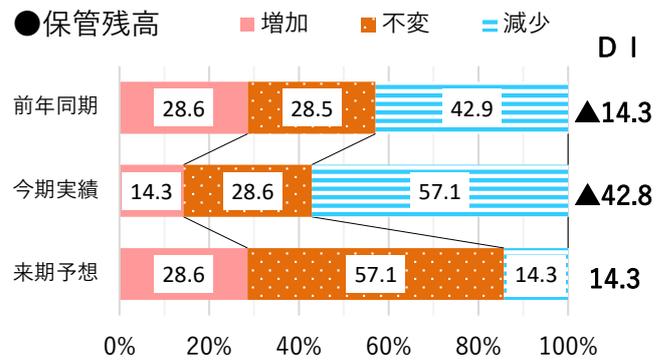
今期の出庫量DIは▲28.6で、前年同期と比べ57.2ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

来期は、出庫量の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の保管残高DIは▲42.8で、前年同期と比べ28.5ポイント低下しました。

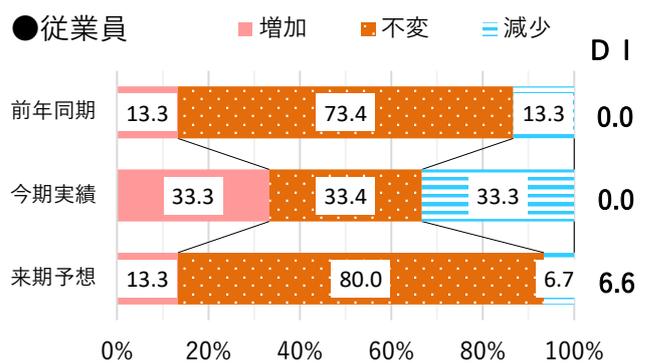
来期は、保管残高が大幅に増加し、プラスに転じると予想しています。



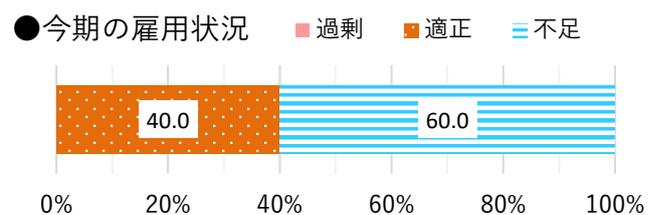
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0.0で、前年同期から変化はありませんでした。

来期は、従業員数の増加を予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は40.0%、不足していると回答した企業の割合は60.0%でした。



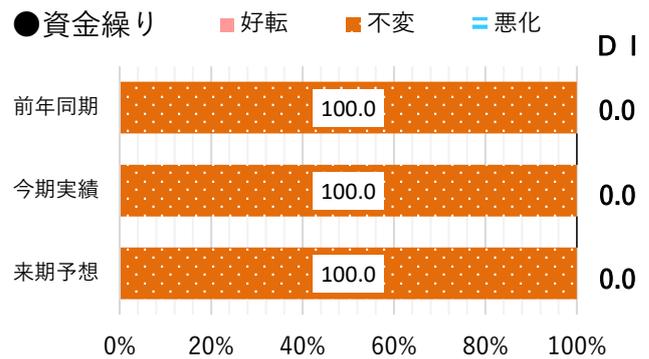
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」という回答で、26.6%を占めました。60.0%の企業は従業員不足と回答しています。

| 今期従業員数 | 今期の雇用状況 | 回答数 |
|--------|---------|-----|
| 増加した | 過剰 | 0 |
| | 適正 | 2 |
| | 不足 | 3 |
| 不変だった | 過剰 | 0 |
| | 適正 | 3 |
| | 不足 | 2 |
| 減少した | 過剰 | 0 |
| | 適正 | 1 |
| | 不足 | 4 |

資金繰り、設備投資

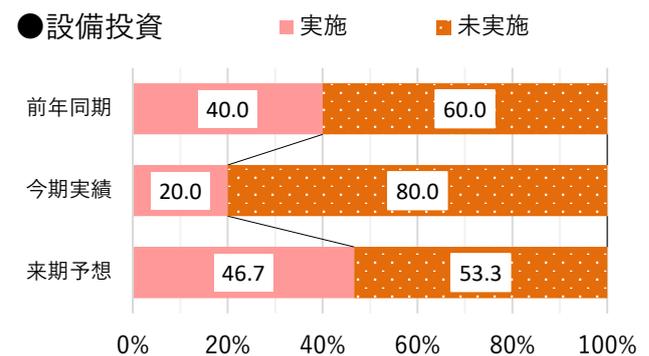
今期の資金繰りDIは0.0で、前年同期から変化はありませんでした。

来期も、資金繰りに変化はないと予想しています。



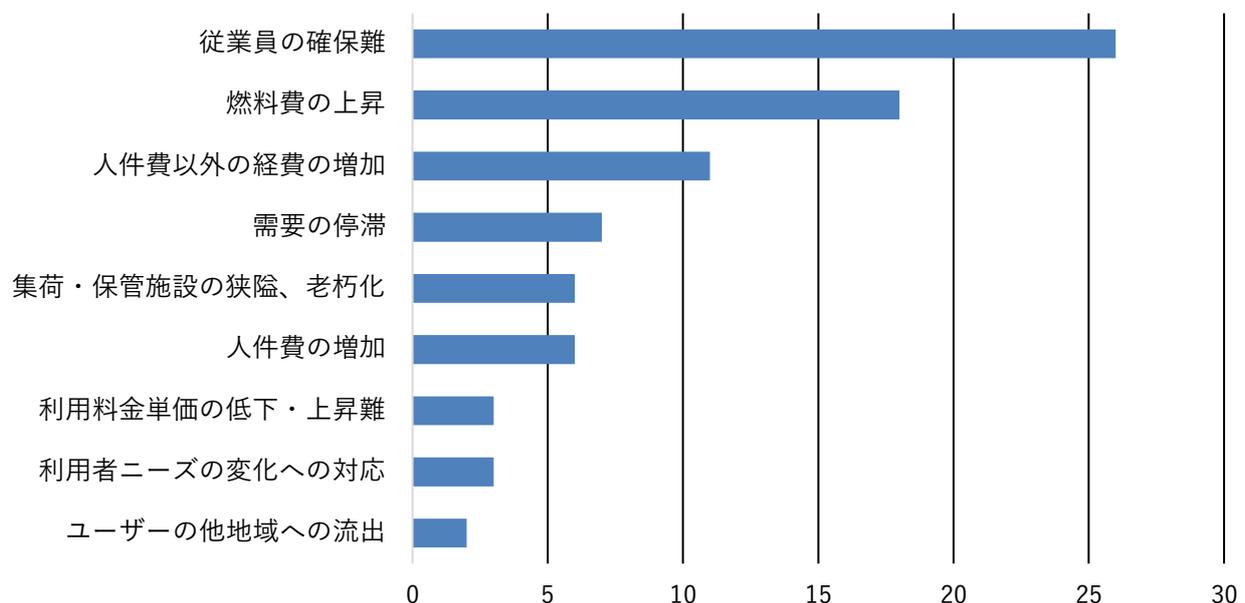
設備投資を実施した企業の割合は20.0%で、前年同期と比べ20.0%低下しました。投資内容は、1位が「付帯施設」、2位が「輸送機器」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は46.7%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「燃料費の上昇」、3位が「人件費以外の経費の増加」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 仕入価格は依然として上昇傾向にある。人件費は同業他社よりも高く設定しているが、売上の増加、業務品質の向上により利益率が高くなった。(道路貨物運送)
- 値上げ要請等により売上は増加傾向にあるが、賃金等経費の増加によりほぼ相殺される。(道路貨物運送)
- 運賃単価を引き上げたため、収入が増加した。(道路貨物運送)
- 市内飼料工場の閉鎖に伴い、作業収入が減少した。既存業務では値上げ交渉を継続している。(港湾運送)
- 燃料費、人件費、その他経費の上昇で利益の確保が難しい。(道路旅客運送)
- 売上額が減少した。人材不足が続いている。(道路旅客運送)
- 運送収入の増加率が伸びた。(道路旅客運送)
- コンテナの入庫遅れにより、保管貨物が減少した。(倉庫)
- 入庫量の減少により、売上も減少した。(倉庫)
- 旅客はゴールデンウィークの日並びの関係か、利用者は昨年度より減少した。貨物はキャンペーンの効果があり、今後も増加が見込める。(水運)

[来期の業況について]

- 今期同様、売上の増加傾向を見込むが、経費増加によって相殺されるだろう。(道路貨物運送)
- 突発的需要があった前年同期と比較すると、横ばいもしくは減少を見込む。(道路貨物運送)
- 引き続き運送収入の増加が期待できる。(道路旅客運送)
- 経費の増加による利益の減少が続く。(道路旅客運送)
- 人材の確保に期待する。(道路旅客運送)
- 今期入庫が遅れた分の貨物が繰り越されるため、売上の増加を見込む。(倉庫)
- 引き続き入庫量の減少を予想する。(倉庫)
- 旅客の旅行需要と繁忙期のため、増加を見込む。貨物はキャンペーン効果と農産物の輸送が始まるため、増加を予想する。(水運)